

第25号
発行日:平成11年5月1日
発行所
東京青山同窓会事務局
〒151-0072
渋谷区幡ヶ谷1-7-4
深津ビル4F
TEL. 03-3378-6616
発行者 坂井 俊一

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—
1口/1,000円2口以上(年間)
会計幹事:山根 伸之(64回)
振込先
安田信託銀行 虎ノ門支店
普4046552 東京青山同窓会
郵便振込口座 00150-9-4074

平成10年度 東京青山同窓会総会

平成10年11月13日(金) 於: ホテルグランドパレス

幾分年老いたが、しかし力強く先を急ぐ足取りの紳士が、笑顔で「よー元気だったか」とこちらに向かって声をかけてき。まもなく受付の裏手から3名の紳士が彼を出迎えるようにして「元気そうだな。よかった、よかった。」とほずむような声で会話を交わした。

これは、平成10年11月13日に開催された総会が始まる前での一コマであった。同総会の総会であるから、若いも若きも一同に会しているはずなのに、当初からどことなく今年も壮年がとても元気だなどという印象を受けた。近年の同窓会に出来るだけ出席している小生は、こうした風潮が当然のものとして全体に受け入れられているところに伝統を感じつつも、若い人達のたじろぎを残念に思ってきた。若い人達には、もっと前向きに先輩にぶつかって、話し合いの機会を得てはと思っている。社会的に立派な先輩、経験豊かな先輩、知識、知恵に優れた先輩が、我が同窓会には多数いる。自分達もその同窓なのだから、その特権を謙虚に数多く駆使してみてはと考えている。

小生は40代後半まで、同窓会や同期会に積極的に出席できない状況にあったが、自分の青春の原点という大げさに聞こえるが、小生にとって、卒業以来つねに希求し続け、あらゆる障魔をも乗り越える原動力であったのは、ある友人との約束である。それも卒業直前に交わした口約束であったが、「お互いに国際人になって30年後に東京で会おう」ということだった。この約束の内容は、今振り返ると陳腐で若干情けない内容のものだが、その時代にあって海外に留学し、国際人になるなど少々意気になってみえる。また、東京で会うということも越後を越えて、新潟以外のところでお互いに活躍しようとの思いがあったことも理解していただきたい。

こうした大志をいだいて頑張っていたが、彼は、私が英国から帰って間もなく、誠に残念なことに故人となった。青山同窓会への出席は、彼との約束どうり卒業後30年から続いており、これからも大切な青春時代の友人との約束を守り続けるつもりである。

前置きが長くなったが、では、ホテルグ

ランドパレスで開催された同窓会を紹介しよう。式次第のとおり順調に進行した総会の中でも、斎藤伸雄会長による新会長の推薦、全員一致で栗林貞一新会長の誕生は、同会の新しい幕開けを意味し圧巻であった。坂井幹事長、山根会計幹事に続き、斎藤英四郎名誉会長にも挨拶をいただいた。日本の実業界を代表する斎藤名誉会長は、2部の懇親会においても元気に後輩に貴重なアドバイスを与えておられ、小生も幾多の教訓を得ることができた。そして、新潟から出席していただいた厚地青山同窓副会長、坂井新潟高校教頭、長谷川新潟市長からも、楽しくもあり、懐かしくもあり、心温まる励ましの挨拶がありました。恒例の校歌斉唱には、46回生の富所氏が元気あふれるさわやかな指揮をとられた。総会は佐藤副幹事長の辞で終わり、第2部の懇親会に移った。懇親会はホテルというオープンなイメージもあり、従来の総会にもまして明るくまとまっていた。これまで財政的には必ずしも豊かでなかったこともあり場所に限りがあった。時には斎藤伸雄前会長の個



人的な財務支援などに助けられた年度もあったが、これからは同窓生各自が、会の存在に関してより深い認識と積極的な参加、メンバー間の情報交換など経済・社会活動に期待したいものです。

小飯塚 豊(71回)



ごあいさつ

会長 栗林貞一(59回)
(日本アジア航空会長)



平成10年11月13日の総会で東京青山同窓会の会長に選任されました。名門新潟中学校、新潟高校の東京同窓会であります。身の引締る思いです。斎藤伸雄前会長には10年余の長きにわたり、この同窓会を育てていただきました。お陰様で年々発展をつづけ、今日の隆盛を見るに至りました。まことに有り難うございました。今後とも名誉会長としてご指導をお願いいたします。

今度の同窓会の運営については、まず会員相互の親睦を第一の目標とし、その中からお互いが助け合い、協力し合って、それぞれが発展繁栄してゆくことを目指したいと思います。

同期の会合は活発に行われているようです。その模様は会報に載せられているので、皆さんご承知の通りです。しかしそのようないわば横糸は同窓会を発展させる重要な要素ではありますが、同窓会の本質としては不十分です。異なる卒業回を通じた縦糸を強くして、横糸により合わせ、一層堅固な、同窓会ならではの

の縦横ネットをつくらなければなりません。そのためには総会その他の会合など同窓会の運営について、皆で知恵とアイデアを出し合って楽しいものになりたいと思います。そして幹事だけが忙しく、他の人はただ出席するだけというのではなく、全員参画、全員参加を心掛け、気楽に楽しくやっていきたいと考えます。

米国ワシントンに出掛けたとき、アーリントン墓地を訪れました。ジョン・F・ケネディ元大統領の墓が奥まったところにあります。そしてそのまわりにケネディの言った有名な言葉が彫ってありました。「国が自分のために何をしてくれるかではなく、自分は国のために何が出来るかを考えるべきである。」これを同窓会に引きうつしてみると、「同窓会が自分のために何をしてくれるかではなく、自分は同窓会と母校のために何が出来るかを考えるべきである。」ということになります。いかがでしょうか。

東京青山同窓会は総勢約5,000人に及ぶ大勢力です。しかも多士済々、広い分野で活躍しています。同窓会はず親睦を旨としますが、その中から生まれるいろいろな面での助け合いと相互の協力も重要です。誰しも同窓であるというだけで親しみを覚えますが、お互い無理をしてはいけません。無理をすると長続きしないのみならず、親睦まで損なう結果になりかねません。同窓会の本質にも沿わないことになるおそれがあります。

先日新潟に行ったとき母校を訪れ竣工した本校舎を見てきました。たまたま

平成9年度決算報告及び10年度予算

収入の部 (千円)			
費目	9年度決算 H9.10.1/10.9.30	10年度予算 H10.10.1/11.9.30	備考
前年度繰越金	860	1,782	
年会費	2,419	2,500	1,500名×2,000
総会々費	1,221	1,300	160名×約8,000
新人歓迎会 (講演会)	739	850	130名×7,000
協賛金	7	33	カード22件×1,500
本部補助金	500	500	
雑収入	29	35	
合計	5,775	7,000	

支出の部 (千円)			
費目	9年度決算 H9.10.1/10.9.30	10年度予算 H10.10.1/11.9.30	備考
総会費	1,027	1,500	
新人歓迎会費	660	1,000	
事務局費	214	250	
会議費	312	350	
通信費	732	800	
印刷費	980	1,300	会報2回発行
振込手数料	68	100	郵便扱い
次年度繰越金	7,782	1,700	
合計	5,775	7,000	

その日は仮校舎からの移転の日で、生徒たちが笑顔で引越し作業をしていました。青木校長は予算が削られて中々大変だったとっておられました。私共がいた頃の古い木造校舎や廊下の壁がはげ落ちた旧校舎を思い出すと、気分も一新され、私自身感無量でありました。またこの新校舎の実現に努力された多くの方々にあらためて感謝したいと思います。母校も平成14年には創立110周年を迎えるそうです。一層の発展を祈ります。6月には東京青山同窓会の新人歓迎会を予定しています。新会員の皆さんは万障繰り合わせて出席して下さい。そして高らかにわれら青山のアイデンティティのシンボル「玲瓏の天」を全員一緒に歌いましょう。

関西青山同窓会も発足したようです。新潟、東京、関西と連携を密にして、青山同窓会を発展させて参りたいと思います。

社会人となって

鈴木美葉子(100回)

新同窓会会員となられた皆さん、ご卒業おめでとうございます。旧校舎、新校舎の両方で勉強をした新同窓会生誕生ですね。新校舎をまだ拝見させて頂いていない私は、卒業後の時間の流れを実感いたしました。

私も高校を卒業してから早7年、社会人となり1年が経過致しました。短いようで長い、内容の濃い時間でした。今回、社会人となった私の近況、感想などについてご報告させていただきます。

昨年4月、私は通商産業省の外局である、特許庁に入庁致しました。特許庁と聞いて皆さんは早口言葉「東京特許許可局」(実在はしません)で聞く程度かなと感じる方も多いかと思しますので、どのような仕事をしているか紹介いたします。

特許庁では知的創造活動(発明など)について、その創作者に権利保護を与える知的財産権のうち、特許権、実用新案権、意匠権、商標権について厳正な審査を行って、権利を与えています。つまり、私なりの解釈でいくと、「こんなに誰も容易に思いつかないすばらしい発明をしました」と出願人(特許等が欲しいと申し出た人)が発表したものに、発表した代償にある一定期間の独占的な権利を与えて

良いかどうかを判断するという仕事を行っています。私は大学で食糧化学を専攻していましたが、入庁後は大学で学んだ知識を基礎として、食品やバイオの分野の審査を幅広く行っています。審査では、専門的な化学の知識だけを用いて仕事をしていくのかなあと初めは思っていたが、特許法等の法律に基づいて審査するため、法的知識、論理的な文章力、事務処理能力、体力も必要とされます。高校で広く学んだことがずいぶんと生かされています(先生に感謝)。当面は4年目に審査官となることを目標として、様々な研修、審査等をこなし(テストもあります)、広く深い知識をつけようと日々頑張っています。

同期会報告

58回「東京玲瓏会」

佐籙格(55回)

忙しい時期、暑い時期、寒い季節を避けて、例年、10月か11月、遠路の参加者の便利を考慮して週末の金曜日に開催するのが我等58期の「東京玲瓏会」の不文律であります。

その吉例にしたがい10月16日の金曜日に安田信託銀行市ヶ谷ハウスに於て平成10年度の「東京玲瓏会」が開かれました。

当日、在京の同期生に毎回新潟より出席する大関充良君、山陽路は福山より長駆参加の阿部洋一君、更に10数年ぶりに元気な姿を見せた石崎栄二君を加えて総勢29名、開宴予定の18時30分に先立つ事30分、18時には既に全員集合の熱意に急遽予定を繰り上げて開宴、先ずは長駆遠路より参加の故を以て指名された阿部洋一君の音頭にて乾杯、歓談に入りました。

勤労働員、敗戦、価値観の激変、学制改革

と混乱の学窓生活を過ごし、卒業以来48年、復興から高度成長へ、オイルショック、昭和の終焉、平成バブルから平成不況と狂乱怒涛の時代を駆け抜き、気付いて見ればかつての青陵健児も頭には霜を戴き、或は磯校長には及ばぬながら光頭を誇る老残の身、さぞかし懐旧談と反省と病の話と思いきや、気分は歳月を越えて青春真只中、反省などはどこ吹く風、談

論風発、哄笑、大笑、意気衝天の元気で楽しい2時間の宴でありました。次期幹事に指名された斉藤茂君の音頭で校歌斉唱、来年の「東京玲瓏会」への出席は言わずもがな、平成13年に開催予定の「古稀記念新潟東京合同玲瓏会」、平成15年の「母校創立110年祝賀会」にも全員が元気な顔を揃える事を誓い合って散会と成りました。

原稿募集中

編集部では、各回の楽しい同期会の報告の原稿を募集しております。写真と共に事務局まで原稿をお寄せ下さい。



寄稿

「建川美次と新中野球部」

渡辺毅之(72回)

建川美次と言え、戦中派の方にとっては知らない人はいないだろう。日露戦争のさなか、斥候将校(陸軍中尉)として少数の部下を引き連れて極寒のシベリヤを踏破。その敵情の調査報告が、日本に勝利をもたらしたとして、雑誌「少年倶楽部」で「敵中横断三千里」のヒーローとして紹介され、日本中の少年(大人も)を熱狂させた人物である。

その建川は新中の卒業生であり、私の大叔父(父方の祖母の弟)に該る。

建川は、明治31年に頸城尋常中学校(現高田高校)から新中に転校、新中野球部のキャプテンとなった。時は明治32年11月。長岡中学との遠征試合に向かうため、沼垂駅に制服、わらじ履き、いが栗頭の部員が集まった。見送りの応援団から檄が飛び、「いざ、行かん」といさましく列車に乗り込んだ。待ち受ける長中野球部と応援団。悠久山に歓呼の声がこだまし、一進一退の攻防が繰り広げられた。しかし試合の途中から雨が激しく降り始め、勝敗の帰趨は決することなく中止。今でいえばドロンゲームで終わった。その長中野球部の一員に、後に連合

艦隊司令長官となった山本五十六がいた。奇しくも後の陸軍中将建川美次と、海軍元帥山本五十六は、ここで合い対峙していたのである。

明治末の当時、野球など知らぬ人が大半であった新潟で、新中野球部を育て、野球を普及させた人物が、軍神と言われた、新中OBの建川美次であったとは意外でもある。

今、その建川は私の父と並んで、新中OBが住職の父である蒲原浄光寺に静かに眠っている。

寄稿

日本酒と文化勲章と・・・

中村幹男(55回)

★はじめに

ベストセラー宮尾登美子著「蔵」(毎日新聞社刊)は、新潟市郊外の亀田町にある「越の寒梅」で有名な石本酒造をモデルにした小説で、映画、テレビ、演劇などで上映(演)されたので皆さんもよくご存知のことと思う。

また、文化勲章(昭和42年)、フランスのレジオン・ド・ヌール勲章及び勲一等瑞宝章(昭和49年)など沢山の受賞に輝き、“酒の博士”と云われ、醗酵微生物学の世界的権威として知られた故坂口謹一郎東大名誉教授(明治30年～平成6年、97

歳で没)は、新潟県高田市(現上越市、高田中学一順天中学一旧制一高卒)のご出身で、東大農学部農芸化学の現役教授時代、丸善の営業マンとして私は大変お世話になった忘れ得ぬ先生の一人で、先生から洋書、外国雑誌の注文を受け乍ら、全国の醸造元から日本酒を研究室でよく“きき酒”させられた昔のことを想いだし、新潟の酒“久保田”を、チビリチビリやりながら、坂口先生からの「耳学問」も含めて、ペンを進めていくことになる。

★日本酒の将来と新潟の酒

〈日本酒の将来〉

フランスのワインにボルドーとか、ブルゴーニュとか古くなると味が良くなるものがあるが、日本酒も近い将来古酒が必ず市場に沢山でてくるものと推測される。何故現在まで日本酒の古酒が少ないのか？日本人は貧乏だったからすぐ飲む風習となり、古酒になるまで待てなかったものと思われる。

〈新潟の酒〉

日本酒の需要が伸び悩んでいる中で、新潟の酒だけが売上を伸ばしているのはなぜか？新潟の場合、「越の寒梅」「寒中梅」「メ張鶴」「君の井」「八海山」「久保田」など比較的軽い味ーワイン調ーが人気が出た理由と云われている。「八海山」などは昭和30年代「ヤッカイサン」と云われた程人気なかった銘柄で、現在の杜氏に代えてから営業努力もあって人気銘柄となったと云われている。

週刊ダイヤモンド'98新春合併号で特集

同窓生Yellowpages—その1

社会保険労務士

倉田社会保険労務士事務所

倉田裕一(第89回)



新潟高校卒業以来18年、現在神奈川県藤沢の地で社会保険労務士として各企業、役所等を連日訪問しております。

社会保険労務士とは、法人・個人を

問わず労働者を使用するほとんどの事業所に強制的に適用される、労災保険・雇用保険・健

康保険・厚生年金保険の事務手続き等を事業主になり代わって行い、また、事業における様々な労務管理上の問題点を整備・解決していくのが主な仕事です。

或いは、最近国から支給される各種助成金制度が注目を集めており、その支給申請に携わるケースや、助成金制度そのものを知らない事業主等にその説明・PRをすることも増えてきました。一方で、公的年金(厚生年金・国民年金等)に関する事務の比率も高まってきており、制度が抱える様々な問題点と共に、世間一般の関心も高い中で、銀行等各金融機関での年金相談コーナーなどで相談事務等も行ってあります。

活動の中心はやはり神奈川県が主になりま

すが、東京都区内の事業所への訪問も多く、事務所にとどまって落ち着いている余裕がなかなかありませんが、新潟高校時代バスケットボール部でしごかれた、あの厳しい時代を思い出し、体に鞭打って動き続けている毎日です。

労働保険・社会保険のことでしたら何なりとご相談ください。

お問い合わせ先

倉田社会保険労務士事務所

〒251-0047

神奈川県藤沢市辻堂7256-4

Tel:0466-36-2741 Fax:0466-35-8468

している「日本酒ランキング」によると

1.久保田 2.越の寒梅 3.八海山 4.剣菱(兵庫) 5.浦霞(宮城)と上位3ランクは新潟勢が独占。しかもベスト10位内に新潟酒が5銘柄もランクイン。新潟酒の代名詞である「淡麗辛口」傾向は未だ衰えを知らないようだ。

坂口先生は「伏見の酒は良い酒だ。その中でも「玉之光」が一番美味しい。新潟の酒もこのレベルに引上げたいものだ・・・」とつねづね口にしておられた。私には科学的(化学的?)には判らないが、いつも新潟の酒のことを気にしていたと考えられる。「玉之光」は今でもある)

★坂口先生のことなど

前記坂口謹一郎先生は、丸善の本の代金は盆と暮れの季節払いで丸善に借金があることをステイタス・シンボルとして自慢されていた。

教授室、研究室では一切支払いはしないで、必ず日本橋の丸善四階まで来店され、半年分のウン万円を全額丸善の“商品券”で支払われたのも忘れられない思い出の一つである。

最近上越市の宮越肇市長が酒博士の偉業を後世にと、戦時中市郊外の疎開先“楽縫庵”をもとにした「酒と文化の研究所」の設立構想が具体化されてきたと聞いているが、その中には現在目黒区の自宅書斎にある数千冊の文献なども一緒に移して、単なる陳列だけでなく、老齢化の進んでいる杜氏の育成にも生かせないものかと検討中である由。

★終わりに

明治時代までの日本酒はアルコール度2%のものや8%前後のものが多く、“斗酒なお辞せず”の酒豪の話などはこの低アルコール度のものを飲んでいたわけで、現在の15度～16度前後の酒では一斗も飲んだらひっくり返ること間違いなし!とのことである。

今日、私たちは酒を「うまいから飲み」「一人でも飲み」「毎晩のように飲む」方法をすっかり身につけている。日本酒は生理的酸性度の高い酒類で、ワインや梅酒はアルカリ度の高い酒類である。したがって、人間の血液が微アルカリ性に保たれていないと健康が維持されず、血液が酸性化するとそれはさまざまな病につながってくる。

昔からヨーロッパの肉食民族が肉の多食による血液の酸性をワインを多量に飲むことで防いだ理由がはっきりする。

ここまで書いたら「久保田」の酒も、大分少なくなって「酔」も廻ってきたようだ。現役時代の坂口先生と、研究室で真昼間から“きき酒”をしたなつかしい頃を思い出し、一人悦に入っている。

いそしみて
いや醸み継がむ
にひなめの
まつりにはのしろきろきを
坂口謹一郎 51.1.10

お知らせ

スイス・フルートアンサンブル
笛吹き達

日本公演：プロデュース
(有)ジェイ・クラブ
(代表/日下部朋子/82回)

本公演の実現には、栗林貞一東京同窓会会長に大変お世話になり、日本航空の特別協賛を頂くことが出来ました。1人でも多くの方々に楽しんでいただき、日本とヨーロッパの文化の架け橋になればとの思いで孤軍奮闘しております。どうか皆様のご声援をお待ちしております。

♪新潟公演:99年10月13日(水)

新潟市芸術文化会館

自由席4000円

♪東京公演:99年10月15日(金)

新宿安田生命ホール

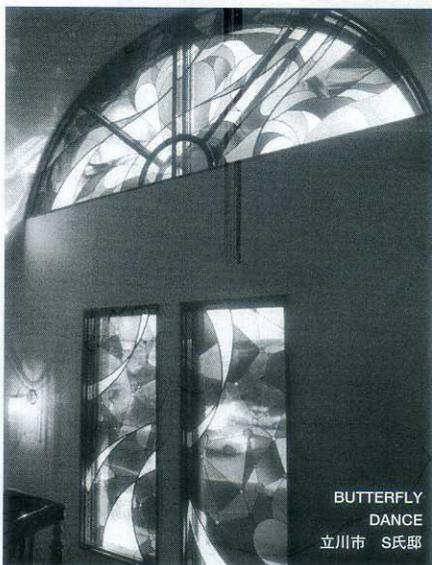
自由席5000円

チケットのお問い合わせは

(有)ジェイ・クラブ/日下部

Tel. 03-3423-3591 Fax. 03-3423-1692

e-mail : kusakabe@moon.email.ne.jp



BUTTERFLY
DANCE
立川市 S氏邸

同窓生Yellowpages—その2

ステンドグラス

未来工房

伊藤真美 (第89回)

平成8年にステンドグラスとモザイクの工房・教室として独立。主に個人住宅のステンドグラスパネルの注文制作を、デザインから取り付けまで承っております。昨今の建築不況の中でも、自分の「城」には何らかのオリジナリティを求めめる方が多く、どんなに小さな明かりとりの窓でも、1つの注文に対して1つのデザインを描いております。

また、自宅工房と「毎日新聞カルチャーシティ」ひばりが丘校と厚木校において、カルチャ

一教室を開いていますが、こちらも主婦やOLから退職後の男性まで、「自分だけのオリジナル作品」を作りたいという方が多勢集まり、やはり個の時代の趣味趣向の多様性に応じるよう努力しております。

ところでこの夏、8月27日から9月5日まで、新潟の紫雲寺町の松林の中のギャラリー「葉」にて、10年間に創作した作品を集めて初の個展を開きます。帰省の際にはぜひドライブがてらお出かけ下さい。

お問い合わせ先

「未来工房」

〒207-0014東京都東大和市南街2-84-1

Tel&Fax:0425-67-1659

寄稿

ネパールと南米で 記念イベント企画

片桐靖忠(67回)

私たち67回は、今年卒業40年目を迎えました。そこで、5月に東京・新潟合同で月岡で同期会を開催することになりました。

そろそろ自分なりのゆとりを持った生活に入る人達も増えてきたようです。ところが、私ときたら、まだ人に言わせれば、夢のような、途方もない企画の実現に、あまたと、毎日を送っています。

一つは、2001年の元旦に、ネパールのルンビニ(釈迦の誕生の地)に、世界最大のマンダラを展示しようというものです。ここを仏教の聖地公園にしようと、ルンビニ開発委員会が出来(丹下健三氏が公園デザインをした)世界の仏教国がそれぞれ国柄に合わせた建築物を建てています。その公園の一角に、世界最大のマンダラを展示しようという計画です。原画はネパールの僧侶と、マンダラ・アーティストに描いてもらい、コンピュータで70m×50mに拡大。さらにそれを一万個の部分に分け、世界の一万人の人々にパッチワークしてもらおう。そして、これを合わせて一枚のマンダラをつくりあげる。又、一万枚を、一枚に縫い合わせるために、カトマンズ郊外に作業場をつくるのですが、そこを使用後、技術学校として活用します。

この計画を、東京青山同窓会の栗林会長にご協力をお願いしました。会長はお忙しいにもかかわらず、前、橋本首相や、同期の諸先輩方にも快くご紹介くださり、心強いかぎりです。又、73回の石黒さんは、会社がネパールで仕事をされていることから、ネパールでの作業に協力頂けるといううれしいお約束を頂きました。このプロジェクトには、文化女子大や、多摩美、その他若い方々も色々な形で協力して頂いております。この企画は、それなりに費用のかかるイベントなので企業、個人のスポンサーをお待ちしています。

興味のある方はご連絡ください。

もう一つは、南米チチカカ湖に生えている芦で造った古代船を再現した船で、チリから日本に向かう、太平洋横断の大冒険をする“マタランギ号”を日本に迎えるというイベントです。スペイン国王の船籍を持つマタランギ号は、キティン・ムニ

ユオスを船長に10人の乗組員(うち2人は日本人)でチリを出航。5月10日ころマルケサス島に着き、8月には日本に着く予定です。この船はユネスコの公式プロジェクトで古代の航海術や、海上の道の検証などを目的としています。こちら、興味のある企業、個人の方々のご協力をお願い致します。

というわけで、毎日々々忙しくとび廻っています。2001年まで、まだまだガンバッテいくつもりです。

連絡先

(株)日本経済社・第5クリエイティブグループ
片桐靖忠 電話03-5550-6907

新校舎建築情報



平成8年から始まった母校の新築工事も大詰めを迎えています。新潟の校内幹事山田栄氏よりお知らせが届きましたのでご紹介します。

<新潟県立新潟高等学校新校舎建築近況>

- 平成9年~10年 新校舎、普通・特別・視聴覚室棟建築
- 平成11年1月 新校舎、上記各棟完成
- 同年2月 仮校舎から新校舎へ引っ越し
- 同年3月~5月 プレハブ仮校舎・旧北校舎、西校舎取り壊し
- 同年6月~ 新校舎、大・小アリーナ(体育館)建築予定
- 平成12年秋 上記アリーナ棟完成予定
- 同年同時期~ 旧第一・第二体育館取り壊し、旧体育館取り壊し後プール・駐輪場、駐車場・弓道場建築、グランド整備
- 平成13年秋 全工事了り予定
- 同時期 「校舎竣工及び創立百周年記念事業・行事」式典予定

現在はかなり快適な新校舎での新生活を全校で楽しんでます。普通教室と事務室、校長室、保健室、会議室等のある普通教室棟。教務室と理科、社会、芸術、家庭、LLの各室のある特別教室棟。それに図書館と視聴覚教室のある視聴覚室棟、の3棟です。視聴覚教室というのは実質はステージのある講堂で、本校の校舎の最大の特徴になっています(席数420)。体育館は現在は古いものを使用中ですが平成13年秋には全工事が完了する予定です。機会があれば是非見学においでください。

山田栄(校内幹事)

◎総会百景◎

総会の盛り上がる様子を85回の奥村基カメラマンが激写して下さいました。できるだけ沢山の方々の思い出となれば幸いです。(編)



新人歓迎会 講演会

講師紹介



石黒久 (72回)
大成建設株式会社
国際事業本部
営業部長

講演タイトル
「元気を出せ青山健児」

略歴

- 1968年 日本大学理工学部土木工学卒業
東京都山岳連名鵬翔山岳会で夏冬とわず日本の困難な著名な山に挑戦
- 1969年 三浦雄一郎の(エベレストスキー探検隊)に参加、初めてヒマラヤへ
- 1970年 上記探検隊でエベレスト八千米に至る。同時期植村が日本人初で頂上へ
- 1971年 アラスカマッキンレー、カナダロブソン、アメリカレーニア山に登る
- 1972年 日本大学理工学部大学院卒、大成建設株式会社入社
- 1973年 会社休暇、エベレスト南登山隊で世界で初めて秋のエベレスト登頂
- 1974年 新潟日報文化功労賞を受賞
- 1975年 ヨーロッパアルプス、モンブラン、マッターホルン登頂
- 1976年 大成建設海外工事でアフリカ、中近東、南東アジアに従事
- 1983年 バングラデッシュ水力発電所建設工事副所長
- 1987年 ネパール水力発電所建設工所長
- 1991年 国際事業本部営業部土木部に帰任
- 1994年 国際事業本部営業部でベトナムなど東南アジアで営業展開
- 現在 大成建設国際事業本部営業部長

平成11年度 東京青山同窓会
新人歓迎会のお知らせ

【日時】
平成11年6月11日(金)
p.m. 6:00 受付開始
p.m. 6:30 開始

【会費】
一般・8000円
女性・5000円
大学生・3000円
新人・2000円

【会場】
東京・紀尾井町
ホテルニューオータニ
「おり鶴・麗の間」
(本館アーケード階)
千代田区紀尾井町4-1
TEL. 03-3265-1111 (代)

【講演会】
講演テーマ「元気を出せ青山健児」
【懇親会】
立食パーティー



最寄り駅
【永田町駅・徒歩3分】半蔵門線(7番出口)
【赤坂見附駅・徒歩3分】丸の内線・銀座線(弁慶橋口)

住所リスト出力サービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを実費にてお届けいたします。

ご希望の学年と、リストか、ラベルかを明記し、右記の費用(切手にて)を同封の上、事務局までお送り下さい。

- 住所リスト
1学年/1500円分の切手
- 宛名ラベル
1学年/2000円分の切手

同窓会年会費
自動引き落としのご案内

当同窓会では、振込に手間も手数料もいらぬ「口座引き落とし」のシステムを導入しております。お手続きいただいた方にはお名前入りのIDカードをお作りいたします。ご希望の方は、事務局までご一報下さるか、今回の新人歓迎会の受付までお申し出下さいませ。



郵便局に出かける手間が省けます

振替手数料が無料になります

IDカードとしてお持ちください

平成10年度・会費納入者一覧

H10.10.1~H11.4.30現在まで

33回 (1名)	田中 利男	真壁 清	中村 晃	洪水 幸三	田中 毅	一柳 肇	横堀 弘	79回 (3名)
川上 英三	49回 (14名)	盛山 淑郎	中山 昭一	下條 貞友	田中 照雄	大野 隆治	吉田 秀穂	河 正子
35回 (2名)	阿部 東	渡辺 義隆	成田 順治	高橋 正利	中野 義一	風間 繁	73回 (4名)	佐藤 龍男
丸山 求蔵	池田 純一	55回 (9名)	西岡 幸泰	長島 一郎	中村 義一	片桐 靖忠	石黒 久	西口 幸男
山名 栄一	井上 正	阿尻 威吾	庭山 六郎	長橋 敏雄	広田 俊夫	片山 忠一	遠藤 裕久	80回 (7名)
36回 (4名)	内田 文雄	新井 勝龍	落谷 硯児	納谷 喜郎	帆刈 宏典	菅又 信	中野 治	青木 隆次
関 昇	小黒 義一	倉茂 周明	藤田 和夫	花井 進	三浦 愛三	高橋 三郎	成田 常也	位田 和彦
華房 嶺磨	梶山 勝清	斉藤 健一	伏見 康	藤原 幸雄	皆川 重	高橋 信夫	74回 (10名)	大関 潤
福田 謙也	梶原 計佐	千葉 一雄	堀 藤四郎	山崎 徳左衛門	浅野 康一	寺井 宏	池 一	沖野 謙
八木 博	工藤 弘安	千葉 繁治	増田 祐孝	山田 和雄	阿部 達	西 章	石井 拓男	玉木 友二
37回 (1名)	佐藤 博	中村 正義	松井 昭五	吉田 陽吾	小原 和子	前田 康久	和泉 潤	中村 吉郎
馬場 幸一郎	白川 保	中村 幹男	三崎 正一	60回 (22名)	梶原 哲郎	68回 (15名)	上田 久則	原 永庫
38回 (2名)	滝沢 信義	村山 義夫	宗村 禎三	石田 章	高橋 良行	安達 雅巳	大滝 均	81回 (8名)
大沼 正一	仁保 武人	56回 (66名)	村松 茂樹	岩田 暁一	中村 道衛	阿部 尚武	加門 文隆	荒川 秀樹
丸山 岩三	濱 博世	赤坂 長弥	山口 和郎	内山 真一	西村 允	上村 嶺子	黒木 幹雄	小野島 正彰
39回 (1名)	廣川 浩一	朝比奈 和三	山城 教成	小川 秋実	村山 弘義	草野 佐	高橋 保	尾山 尚
桜井 豊治	50回 (8名)	荒井 宏	山田 幸輝	金山 常吉	山田 益也	小日向 信光	土屋 彰義	笹川 典男
40回 (1名)	佐藤 剛一	飯島 昌弥	山田 隆男	切貫 久司	油本 暢男	近藤 和久	波多腰 明	佐藤 常芳
高田 信川	瀬谷 誠	石崎 和雄	山中 紀行	小出 直	若穂 廣志	佐々木賢介	75回 (15名)	豊島 裕子
41回 (3名)	高橋 修	石田 智	山本 幸正	小林 吾郎	64回 (21名)	重野 康人	岩淵 博	中西 由里
五十嵐 富郎	寺田 秀夫	石田 恒良	渡辺 友也	近藤 純夫	植村 頼音	進藤 喜代子	大越 公平	広島 勉
伊藤 一雄	時田 勇司	市川 千尋	57回 (1名)	齋木守雄	太田 健治	滝沢 猛	大原 哲三	82回 (3名)
布施 栄信	中村 晴信	井上 菊雄	川口 政行	高橋 明男	川口 徹	中村 輝夫	小出 公平	日下部 朋子
42回 (5名)	藤井 義良	今井 忠平	58回 (18名)	千綿 了	川崎 明	松橋 英夫	小山 隆	小亦 斉
片山 彦三	山田 英世	逢坂 七郎	池田 成義	徳田 浩一	桑野 光雄	鎗居 秀禎	佐藤 邦雄	吉田 実
塩谷 正雄	51回 (14名)	大野 利夫	植村 末哉	富山 和夫	坂井 敬	渡邊 公夫	曾我 正男	83回 (4名)
高橋 二郎	上野 仁	鹿兒島 昌雄	片桐 欣哉	中田 亨	佐藤 章	渡辺 哲	高橋 正	浅間 芳朗
田中 正吾	笠井 謙	加藤 勝則	片桐 啓三	長谷川 信夫	椎名 睦郎	69回 (5名)	玉木 廣	遠藤 光郎
東城 真佐男	河路 渡	金子 昌次郎	齋藤 茂	廣瀬 欽次郎	清水 良男	青木 利祐	野崎 茂	山口 虎彦
43回 (6名)	北村 茂	川崎 高一	佐藤 明夫	藤本 剛	須田 嶺治	石川 健一	萩野 由里子	横山 修
梅田 悌次	木下 進	川田 幸雄	佐藤 恪	益子 恒徳	高橋 正幸	岡田 尚子	萬歳 信行	84回 (3名)
小沢 省三	坂野上 啓	北村 晴四郎	田中 俊男	松尾 克己	高見 浩	服部 千尋	藤縄 利勝	大須賀 郷子
里見 昌宏	島田 晋	木村 直平	落谷 秀雄	宮田 庄之助	田才 邦彦	樋口 正臣	山崎 信行	加藤 仁
田中 一郎	鈴切 康雄	久慈 正彦	細貝 実	矢川 和偉	津野 慶浩	70回 (14名)	渡部 一俊	島津 孝
徳重 茂	田中 芳彦	久保田 剛敏	堀内 俊夫	61回 (17名)	中川 透	石井 堅一	76回 (15名)	奥村 基
村山 登	千葉 繁太	小島 直孝	松井 慎平	赤堀 和郎	中島 仁	岡田 利邦	天野 直二	杉林 亨
44回 (6名)	藤島 武雄	小松 重男	宗村 泰四郎	伊藤 英子	中村 輝久	小林 泰嘉	小川 文江	関 史枝
今井 義乃介	真壁 三男	近藤 源也	村山 保	猪間 駿太郎	早川 周作	近藤 健太郎	小田 高久	田中 研一
倉 耕一	丸山 幹男	斉川 和平	望月 和明	大橋 恒夫	堀 健次	高橋 道子	久住昌 克太郎	橋本 到
小山 得二郎	和貝 輝雄	坂井 洲二	望月 高之	河辺 全也	山根 伸之	田辺 豊	佐野 敬文	吉田幸司
斎藤 伸雄	52回 (13名)	佐藤 幸喜	本永 祐嗣	木村 政雄	吉田 豊祐	野川 晃一	田中 邦直	88回 (2名)
佐藤 敬雄	阿部 和夫	真田 八東	山谷 皓栄	小林 元雄	阿部 正男	花輪 治	谷沢 承子	前田 豊
錦織 登美夫	栗原 一也	塩尻 戎三	阿部 進	杉山 由人	川合 英次	本間 裕弼	太原 まゆみ	吉岡 潤
45回 (3名)	児島 壽一	柴垣 寛	阿部 昌雄	竹尾 昇	柴沢 大五郎	山宮 士郎	田村 俊作	89回 (1名)
金澤 武	斎藤 茂美	清水 隆	阿部 英二	田中 宣	関 英一郎	若井 正嗣	細谷 洋一	岩野 尚子
川村 明義	斎藤 泰五郎	白勢 陽一	園城 英一	田村 文男	中野 哲之	渡辺 允雄	間島 伸治	90回 (2名)
野瀬 秀雄	坂井 保也	菅原 惇	大島 洋一	長沼 雄峰	半澤 貢	渡部 美那実	山際 岩雄	奥田 理
46回 (2名)	佐藤 昭三	鈴木 正身	奥村 繁樹	長谷川 義明	本間 忠彦	71回 (4名)	湯本 雅恵	田辺 文
上杉 栄一	橋本 義行	鈴木 正安	小村 幸久	藤田 吉次	山崎 耕一	五十嵐 勤	渡辺 敏	91回 (1名)
山田 市男	廣川 勲	鈴木 寧	笠井 駿	丸山 正広	谷田部 信	柄沢 卓	斎藤 實	101回 (1名)
47回 (4名)	廣川 昭二	清野 誠二	金巻 久	村山 健	66回 (9名)	小飯塚 豊	桜井 宗一	佐藤 朋範
朝日 翠	宮原 昭三	高見 久義	櫛谷 全一	谷田部 信	石山 芳春	堀 清忠	生野 勝	106回 (1名)
小杉 吉二郎	村山 玄二郎	建部 恒彦	栗林 貞一	62回 (16名)	内田 定寛	72回 (10名)	荒川 幸夫	江村 重仁
斎藤 浩一	森 重郎	田代 九郎	栗林 洋	石田 寛	木下 功	荒川 幸夫	熊谷 國男	
斎藤 しょう太郎	53回 (7名)	照木 仁	小池 和男	太田 杜夫	熊谷 國男	石田 庄	塩谷 芳彦	
48回 (4名)	小林 武	永井 喜八郎	小城 一廣	大高 康夫	塩谷 芳彦	勝見 修	二宮 靖彦	
小池 清泰	塩谷 芳男	中川 彰	小林 謙二	小黒 昌一	小池 健治	佐藤 修	野水 宏樹	
佐藤 素一	野田 栄次郎	中川 邦司	佐々木 康裕	小池 健治	佐藤 勝彦	菅又 滋	半澤 弥栄子	
真保 昌	林 博	中島 顕	茂泉 喜彦	新保 利博	田子 元	富田 由李	鷲頭 陽一	
						矢島 邦夫	67回 (11名)	
						村田 光男		以上482名

■年会費未納の方は、同封の振替用紙にてまたは指定銀行口座までお振込下さい。(1口1000円、2口以上でお願いいたします。)